

「賑わい創研」設立

とプロ
創研
コー
いコ
研
ス

人と企業、地域、文化つなぐ

商業コンサルタントの商い創研研究所(東京、松本大地代表取締役)は、総合広告業のスコープ(東京、横山寛CEO)最高経営責任者)と組んで、会員制の情報交流やにぎわいを創造する様々な事業を目的にした「賑わい創研」を6月1日に設立する。

本社は東京都千代田区に置き、松本氏が社長に就く。資本金は2000万円。「商業空間、公共空間での集客とにぎわいを創る会社」として、商業施設や小売業、ファッションビジネス関係企業、地域活性化・まちづくり関係者など80社程度の会員で構成する。

設立にあたって松本社長は「ECの攻勢や人口減少、少子高齢化など、社会を取り巻く環境が著しく変化の中で、生活者のライフスタイルが大きく変容している。一方で、生活者は公共空間や商業施設、小売店に対して心の満足や体験価値を求める傾向が強まっている。ネットと差別化を図るには、ネットにはできないリアルなメリットを打ち出した価値創造が必要であり、それを核にした持続可能

なビジネスモデルの確立が命題となっている。両社が積み重ねてきたフィールドマーケティングと国内外の先端的な事例研究を通じて問題解決策を提供する」と話す。

会員と「賑わいラボ」を組織化して会員制サービスを行う。マーケティング調査研究活動や

セミナー、国内外の先端事例の視察を通じて時代をリードする情報を提供する。企業や地域行政の事業化プロデューサーの人材育成支援、商業施設開発や街づくりにおける総合的なプロデュース、オペレーション支援などを行う。